

施策番号	0102		
施策名	低炭素型のくらしやまちづくりの実現		
概要	低炭素型のくらしやまちづくりのために、環境に優しいライフスタイルへの転換や再生可能エネルギーの利用など、省エネ省資源化に向けた取組を推進する。		
担当局・部室	環境政策局・環境企画部，地球温暖化対策室	共管局・部室	
上位政策	1 環境		
施策に関する 主な分野別計画等	京（みやこ）の環境共生推進計画，京都市自動車環境対策計画（2011～2020），京都市地球温暖化対策計画〈2011-2020〉，京都市エネルギー政策推進のための戦略		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	25年度	26年度	27年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト	
1 新規エコドライバーズ宣言者数(人)	b	b	16,460	17,538	20,000	87.7%	b	1.00	
2 エコ学区宣言数(学区)	-	a	163	200	206	97.1%	b	0.50	
3 「DO YOU KYOTO?」関連事業協力団体数(社)	a	a	251	251	300	83.7%	a	0.50	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度回答						有効回答 者数	評価
	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない			
1 省エネや省資源に取り組むひとや、徒歩、自転車、公共交通機関を利用するひとが増えている。	99 18.5%	202 37.7%	153 28.5%	56 10.4%	26 4.9%	536	b	
2 太陽光発電や使用済み天ぷら油の燃料化など、環境にやさしい技術やエネルギーの活用が進んでいる。	32 5.9%	146 27.1%	227 42.1%	93 17.3%	41 7.6%	539	c	
3 京都では、環境にやさしい行動を当たり前のこととして実践するひとや事業者が増えている。	21 4.0%	164 30.9%	231 43.5%	79 14.9%	36 6.8%	531	c	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価							c	

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					26年度	B
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 市民の皆様や事業者の方々により展開されるエコドライブや環境にやさしい活動は、行政の取組だけでなく各々の意識啓発が大切であることから、市民の実感に重みを置く。						25年度	B
(原因分析) 【客観指標】●新規エコドライブ宣言者数は、運転免許の新規取得者が横ばいで推移していること等から前年度と同程度であり、目標値を達成できなかったものの、自動車関連団体と連携し、エコドライブ推進月間(11月)における啓発イベントや運転免許の取得時等にエコドライブ教室を開催し、エコドライブの普及拡大を図ったことにより、3年連続b評価となり、安定している。 ●エコ学区宣言数は、地域への呼び掛けを積極的に行ったことにより、前年度に比べ増加しているが、目標値にわずかに届かず、a→b評価となった。 ●「DO YOU KYOTO?」関連事業協力団体数は、ホームページによる情報発信等により周知を行ったことにより、3年連続a評価と高い評価で安定している。 【市民の実感】●省エネ、省資源や公共交通優先の取組については、継続的な取組により浸透しつつあるため、前年度に引き続きb評価となった。 ●再生可能エネルギーの活用やライフスタイルの転換については、「どちらとも言えない」との回答が多く、前年度に引き続きc評価となった。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		26年度決算額	27年度予算額		
1	地球温暖化対策条例の推進	99,134	110,286	良い	環境政策局
2	事業者による地球温暖化対策の推進	58,821	57,875	良い	環境政策局
3	京のアジェンダ2.1推進事業	20,171	17,721	普通	環境政策局
4	「DO YOU KYOTO?」推進事業～環境にやさしいライフスタイルへの転換～	28,371	28,294	普通	環境政策局
5	再生可能エネルギー等利用推進事業	273,135	358,778	普通	環境政策局
6	「DO YOU KYOTO?クレジット」を活用した地域の温室効果ガス排出量削減促進事業	13,618	13,196	かなり良い	環境政策局
7	「エコ学区」事業	37,492	43,557	普通	環境政策局
8	地球温暖化対策市役所率先実行部門	20,390	17,876	良い	環境政策局
9	燃料電池自動車普及促進事業	-	39,702	-	環境政策局
10	京都環境賞	4,405	5,399	良い	環境政策局
11	環境保全活動の普及啓発	23,281	23,335	良い	環境政策局
12	省エネルギー型事業活動の推進(KES認証取得の促進)	2,237	2,321	悪い	環境政策局
13	エコドライブ推進事業	10,996	13,349	良い	環境政策局
14	モデルハウス管理	1,572	-	普通	産業観光局
15	スマートシティ京都プロジェクト	66,108	48,185	良い	産業観光局
16	グリーンイノベーション創出総合支援プロジェクト	57,829	51,994	良い	産業観光局
17	住宅の省エネルギー化推進	72,554	63,031	悪い	都市計画局
18	自動車環境対策	14,663	12,605	-	環境政策局
19	京都スマートシティエキスポ2015の開催	-	5,883	-	産業観光局
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- 自動車関連団体との連携を拡大し、エコドライブ推進月間における啓発イベントの実施やエコドライブ教室開催等の取組により、引き続きエコドライブの普及拡大を図る。
- 再生可能エネルギーの利用は、住宅用太陽光発電システム等の設置助成制度を実施するとともに、バイオマスエネルギー等についても引き続き取組を推進する。
- 地域ぐるみで環境にやさしいライフスタイルへの転換を図る「エコ学区」事業の取組を進めるとともに、市民の皆様や事業者の方々に、引き続き毎月16日のDO YOU KYOTO?デーにおけるノーマイカーデー等の環境配慮行動の実践を呼びかける。
- 以上のことにより、市民の皆様や事業者の方々と一体となった取組を続けていくことで市民生活実感評価の向上を図る。

施策名	0102	低炭素型のくらしやまちづくりの実現				
指標名	新規エコドライブ宣言者数(人)					
担当課	環境管理課		連絡先	222-3951		
1 指標の説明						
ふんわりアクセルやアイドリングストップなどの環境にやさしい運転方法である「エコドライブ」に取り組むことを新しく宣言した人数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
低炭素社会の実現に向けた環境にやさしい運転方法の普及状況を計る指標			出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	25年度	26年度		数値	根拠	達成度
数値	16,460	17,538	1,078人増	20,000	京都市自動車環境対策計画<2011~2020>に基づき、毎年2万人ずつの増加を目指す。	87.7%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値		毎年2万人	32年度	87.7%	京都市自動車環境対策計画<2011~2020>	
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：75%以上～100%未満 c：50%以上～75%未満 d：25%以上～50%未満 e：25%未満		当該指標については目標達成の100%以上をa、以下25%刻みで基準を設定した。		25	26	27
				b	b	b

指標名	エコ学区宣言数(学区)					
担当課	地球温暖化対策室		連絡先	222-4555		
1 指標の説明						
低炭素社会実現やライフスタイルの転換に向けた先進的な取組を総合的に実践する「エコ学区」事業の学区宣言数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
低炭素社会の実現やライフスタイルへの転換状況を示す指標			算出方法：「エコ学区」事業の学区宣言数の合計 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	25年度	26年度		数値	根拠	達成度
数値	163	200	37学区増	206	平成27年度の目標を達成するために、当年度達成すべき数値	97.1%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値		222学区	27年度	90.1%	全222学区の達成を目指す	
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：50%以上～80%未満 d：20%以上～50%未満 e：20%未満		平成27年度までの3年間で全222学区でのエコ学区宣言を達成する目標であり、単年度目標は、平成25年度101学区、平成26年度は206学区、平成27年度は222学区とする。評価年度で、単年度目標を上回る場合をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。		25	26	27
				-	a	b

施策名	0102	低炭素型のくらしやまちづくりの実現									
指標名	「DO YOU KYOTO?」関連事業協力団体数(社)										
担当課	地球温暖化対策室	連絡先	222-4555								
1 指標の説明											
「DO YOU KYOTO?デー」(毎月16日)における統一行動(ノーマイカーデー、ライトダウンなど)の協力(登録)団体数											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
低炭素社会の実現に向けた京都流ライフスタイルの定着状況を示す指標			出典：事業担当課調べ								
4 数値											
	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度					
	25年度	26年度		数値	根拠						
数値	251	251	増減なし	300	平成32年度の数値目標(450)達成のために当年度達成すべき数値	83.7%					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度							
数値		450	32年度	55.8%	事業課にて設定						
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満		市民・事業者の皆様と共に、地球温暖化対策の取組を啓発することは、温室効果ガス排出量削減に大きく寄与する。多数の方々に賛同いただくことが重要であるが、本市が定めた統一行動への十分な理解と協力が不可欠であることから80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		<table border="1"> <tr> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>a</td> <td>a</td> <td>a</td> </tr> </table>		25	26	27	a	a	a
25	26	27									
a	a	a									